

かわむら **こども** クリニックNEWS

Volume 22 No 11

256号

平成26年11月 8日

かわむらこどもクリニック 022-271-5255

HOME PAGE <http://www.kodomo-clinic.or.jp/>

十四大指定都市医師会連協議会

院長

広島で開催された十四大指定都市医師会連絡協議会参加のために、10月17日～18日お休みを頂きありがとうございました。休診とは知らずに来院した方もいたと思います。ご迷惑をかけたお詫びの印として、協議会を旅行記風に紹介します。最近旅行記が多いのは、ネタ切れのためかもしれません。

16日午後休診を利用し、13:30はやぶさで東京へ。15時過ぎには東京駅から浜松町、東京駅開業百周年特別仕様車に出会えたのはラッキー。モノレールで羽田空港、広島行きのフライトは17:15。いつも思うが東京から広島まで飛行機が仙台人の常識。移動を考えれば新幹線を乗り継いだ方が早いかも。フライト待ち時間であることがないのでコーヒー飲みながらのセルフショット、フライト30分遅れで、やっとの思いで広島空港に。まずは腹ごしらえ、グルメ第1弾は「五工門の広島焼き」で満足。リムジンバスまで15分遅れてホテル着は22時。一日がかりの大移動で、ちょっと早めのおやすみなさい。

17日は空白の一日にと思ったが、記事ネタがあったので批判を覚悟でちょっとだけ紹介。実は広島カンツリー倶楽部八本松コースでのゴルフ。平日なので、ちょっと触れにくかった。朝の集合に3分遅れで、会長ら全員そろって自分は最後。かけられた言葉は「先生はB型」。これには返す言葉もなかった。落ち着いた気持ちは、あとでとんでもない事件を。ゴルフスコアには触れず、最高の秋晴れでした。さて風呂にも入りさっぱりし、最後に貴重品ボックスに。暗証番号を押して扉を開けると、背筋が凍ってしまった。入れたはずの財布がない…。まさか盗まれた訳ではないとテンパってしまいフロントへ。「川村様ですね。財布はボックスの上に置いてありました」。確かに入れたと思いながら、財布が見つかった安心と恥ずかしさで何ともいえない気持ち。夜は昨年訪れた「鮭紀廣」で、グルメ第2弾。瀬戸内海の素材を活かした美味しいお鮭を堪能。さて帰りのタクシーを止めてみたら、何と変わった

タクシー。広島カーブの外装、内装は選手のユニホーム、運転手さんまでユニホーム姿。さすが熱狂的が多い広島と。たまたま拾ったタクシーが広島で1台だけと、不思議な偶然に感謝して運ちゃんに記念撮影。何かすごくラッキーという思いの中で熟睡。

18日の協議会は午後から、お土産を探しに広島駅へ。お昼はグルメ第3弾「ばくだん屋の広島つけ麺」。さつと済ませた昼食の後は、これからが本番。参加分科会は、「救急医療の現状と課題」。大都市における救急となると、必ず小児救急が問題になる。仙台市医師会救急担当理事が指定発言。「何かあったら先生に振るから」と前席でスタンバイ。言葉通り、小児救急医療の問題点を振られて、新仙台市立病院における1-3次小児救急の意義について完璧にコメント。他の理事からお世辞ともつかない、「先生しかできない素晴らしいコメント」と高評価。終了後のイベントは宮島往復の「銀河クルーズ」。夕焼けがとてもキレイだったが、宮島は真っ暗。続いての懇親会では、コース料理以外にカキフライ、広島焼き、小鯛の天ぶらの屋台が並ぶ。アトラクションは神楽「八岐大蛇」。ついでに衣装を身につけてみたら、重いこと重いこと。でもぼっちり写真はゲット。

19日の基調講演は横倉日本医師会長による「日本医師会の医療政策」。特別講演は呉市海事歴史科学館、通称大和ミュージアム戸高館長の「戦艦大和を通しての平和の大切さを考える」。年間100万人の来館者がある日本有数の博物館。なぜ大和はひとの心を惹きつけるのか…。当然のことながら、館長といつものポーズでツーショット。ホテル内でグルメ第4弾「広島焼き」を済ませた後は予定通り大和ミュージアムへ。ところが大きなトラブルに巻き込まれることになるのは…。事前にタクシーを手配し、まずは



大和ミュージアム・てつにくじら館へ。見学終了して電話すると、エンジンがかからず動かないと…。止めてあるところまで歩いていくと、代車を手配中とのこと。ところが手配がつかず、別なタクシーを探して乗り換えることに。乗り換えたのはいいが、これからがまたまた長い…。結局は、運がいいのか悪いのか、最初のタクシーで空港に着くことになった。支払いの金額など、ことの顛末は書ききれないので、後日ブログで紹介予定。広島での最後のグルメ第5弾はカキフライ御膳。広島の特産品にしては小ぶりで味も濃厚。帰りは広島から仙台までひとつ飛びで無事到着。

筆舌に尽くし難いほど、いろいろなことがあった広島行き。文中に出てきた写真含めた詳しい旅行記はブログで紹介予定なので、乞う御期待。このように余裕を持って学会に参加できるのも、皆様のご理解とご協力のお陰です。ありがとうございました。



11月のお知らせ

- 東北大学医学部学生実習
14日(金)
- 栄養育児相談
12日、26日(水) 13:30～
栄養士担当 参加無料

3.11で東日本大震災から3年 “震災を忘れない！”
『がんばろう！宮城 がんばろう！日本』 復興支援をこれからも！

読者の広場

先月は13通頂きましたが、プライバシーにかかわるので匿名にしました。まずは泉区の〇〇〇さんから。「おはようございます。お世話になっております。〇〇〇花の母親です。朝早くから申し訳ございません。急ぎにてご相談のためメールさせて頂きました。私、母親のほうが風邪症状と思われる状態で、今日1時に市販の風邪薬を飲みました。自分の病気のせいで子どもを病院に連れていき、他の病気にでもなったらと過剰に心配したせいで、市販の薬を飲んで済ませようと飲んでしまったのが、後悔しています。クリニックのQ&Aにて、基本的には風邪薬は飲んで構わないとみて早速飲んだのですが、飲んだ風邪薬の使用上の注意の紙に授乳中の人には本剤を服用しないが、本剤を服用する場合は授乳を避けて下さい、と書いてあるのを見つけた。慌てて、授乳せずにミルクで対応しています。足りない分はミルクを足していましたが、授乳出来ない期間のせいでただで母乳が止まってしまうのではと不安で仕方ありません。1時から授乳出来ていないので、おっぱいが張ってしまい、搾乳しなければいけないのが困っています。出産後、おっぱいが足りないほうだったため、搾乳のしかたもわかりません。いつまで母乳はあげられないのでしょうか？診察時間前に申し訳ないのですが、アドバイス頂きたいと思いメールしました。」確かに授乳中のお母さんの服薬は気になるものです。Q&Aまで調べてくれたことはうれしい限りです。早速次のように返事しました。「メールありがとう。まずは、基本的には大丈夫です。お母さんが飲んだ薬は、吸収されて母乳中に出てくる可能性があります。しかしその量は、微々たるもので赤ちゃんに影響(副作用)を起こすほどの量ではありません。実際授乳中に飲んではいけない薬として記載されているものはたくさんあります。特殊な薬剤、大量、長期にわたるものでない限り、影響が出ることはほとんどありません。また時間とともに血中濃度は下がってきていますから、おっぱいを飲ませて構いません。」。また返事が「早くにお返事ありがとうございます。先生からOKが出たことで、パニックになっていたのがホッとしました。さっそくおっぱいをあげたいと思います。毎日、不安なことについていっぱいの中、親切丁寧な対応、本当にありがたいです。感謝しています。明日、予防接種でまたお世話になります。よろしく願います。」。本当にお母さんは大変です。少しでも心を軽くする、それも我々の仕事です。

続いては、医療機関の待合室でストーブで火傷した青葉区の〇〇さんからのメールです。「いつもお世話になっております。昨日、予防接種で受診時に息子の火傷の話をしていただきました。〇〇と申します。用途違いとは思いましたが、お礼を申し上げたくメールいたしました。息子の火傷は川村先生とは関わりのないことだったのにもかわらず、川村先生が同じ医師として「すまなかつたね」とおっしゃってくださつたこと、心にしみました。ありがとうございます。そして、図々しくも川村先生にお話を聞いて欲しいと思つてしまいました。お時間をとらせてしまいますのでメールで失礼いたします。火傷当初は毎日が辛く、一瞬でも息子から目を離したことで、その診療所を選んだこと、自分を責め続けました。8ヶ月ほど経った今でも息子の手のことを考え眠れない日があります。それでも前を向いて、その時々で息子にとってベストな選択をしサポートしていこうと思えるようになりました。「親だけでなく子供を守るべきが小児科だ」と川村先生はおっしゃいました。信頼すべき医師の言葉だと感じました。事故のあった医師からは、そんな言葉は出なかつたからです。当初、どこへ相談すべきかも分からず、家族だけで苦しみを抱えておりました。私は、二度と同じ苦しみを味わう子供たちが出ないように、その医療機関に物申すことも私の責任ではないかと考え、ソーシャルワーカーさんや弁護士からアドバイスをいただき、施設の改善と息子への賠償を求めることにしました。話し合いには主人に行つてもらつたのですが、医師から、息子の行動がおかしいとれるような言葉や、暖炉に柵を設けることは「無粋」なんだという言葉が聞かれショックでした。それまでの信頼関係があつたという間に崩れました。その医師の処置を数日受けたことも後悔しました。すぐにも救急車を呼ぶべきだったかも知れないと。。。新たなかかりつけ医を探していた頃、たまたま休日当番医だった「かわむらこどもクリニック」を受診しました。ようやく先生もスタッフの皆さんも本当に信頼できるクリニックに出会うことができました。自宅からはやや距離があるのに、やっぱり信頼できる先生達のところへ行つてしまうのです。これからますますお世話になりたいと思つております。行き詰まつた時、悩んだ時はどうぞ助けてください。よろしく願います。息子の手術も過酷でした。息子の苦痛は計り知れません。母親も強くなければなりません、心が折れそうなこともあります。川村先生のお声がけに、私は救われました。ありがとうございます。本当に突然、図々しくメールしてしまい失礼しました。来週の金曜日、また予防接種で伺います。」。大変な思いをしたお母さんからの報告とお礼のメールです。お母さんの気持ちを考えたら「すまない」という言葉が自然にでてしまいました。2通のメールとも、理念「お母さんの不安・心配」の証です。ありがとう！！



Mail News, Twitter, Blog, Facebook の紹介

Mail News は、500人を超えるお母さんが登録。右上のQRコードから登録できます。件名を「登録希望」とし、登録者の名前とお子さんの名前を記載し送信してください。

新しい情報発信として **Twitter**、**Blog** 「子どもクリニック四方山話」、**Facebook ページ**、**YouTube** にも取り組んでいます。子育て、医学、趣味、グルメ、旅行記等のおもしろい話題満載。見るだけでも楽しいかもしれません。是非ご覧ください！

Mail News かなり戻ってきます。届かない場合は kodomo-clinic.or.jp をドメイン指定して下さい。不明な点は受付まで問い合わせ下さい。



MailNews



Twitter

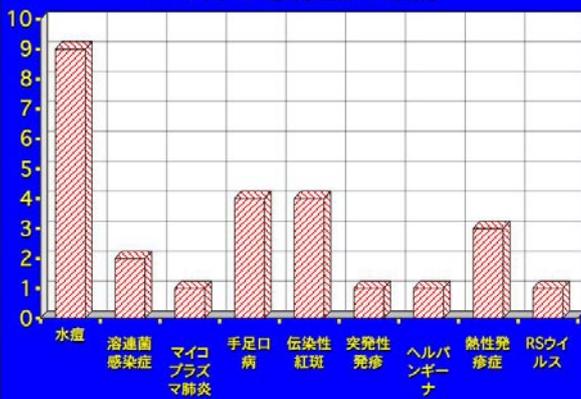


Facebook



Blog

10月の感染症の集計



先月は特に流行している感染症はありません。ヘルパンギーナは少なくなりましたが、夏カゼの手足口病、伝染性紅斑ががみられています。季節の変わり目で止りにくい咳が目立ってきました。喘息にも季節柄要注意です。

編集後記

最近旅行記、いや学会参加報告が多くなりました。NEWSには様々な記事を書けていますが、同じ記事は一度だけと決めています。診察室では真面目な話、新聞ではお遊び、それも良いかもしれません。「読者の広場」長くなり院長の考えも伝えられませんでした。重い内容ですが、母親の想いについて、是非考えてみてください。



K's clinic

麻しん風しんゼロ作戦キャンペーン 『1才のお誕生日にMRワクチンを！！』

『お母さんクラブ』現在会員を募集中です。参加希望は受付まで。